

HEISEI
平成
25年度

災害時、 議員は何をすべきか。 独自のルールを決めた

約2年間の話し合いの後、平成26年（2014年）2月に災害時の市議会や議員の対応を定めたルールとして、**大規模自然災害発生時の対応要領**をまとめました。常設の災害対策会議を設置したことは、西日本で初めての取り組みとなりました。



ルール作りだけでなく、
日頃の意識づけや訓練が大切です。

HEISEI
平成
26年度

大阪府内で初。 予算と決算を一連で チェックする仕組み

従来は、決算の審査については、決算審査特別委員会を設置して、限られた議員によるチェックを行っていました。新たに**設置した予算決算常任委員会**は、予算も決算も、常任委員会と連動した分科会で専門的に審査をする体制をつくりました。これにより、決算での意見が次年度の予算に反映されているかどうか、チェックがしやすい仕組みとなりました。



予算も決算も議長を除く全員でチェックします。

HEISEI
平成
28年度

議場で河内音頭。 歌と踊りで防災啓発

平成28年（2016年）9月定例会の初日が防災の日であったことから、**防災河内音頭まつり議会**として、定例会の開会に先立って、河内音頭の魅力発信を兼ねた議会を開催しました。八尾市議会では、その後も議場での防災訓練などの取り組みを継続して行っています。



市議会が作詞したオリジナルの
「防災河内音頭」の実演をし、
CDも制作しました。

HEISEI
平成
29年度

市議会×高校生 プロジェクト始動

市議会だよりの表紙・題字に市内高校の美術部や書道部などの作品や活動写真を順次掲載しました。取材を通じて、高校生らに議会や議員に関する説明を行うことや、地域の生徒会に議場を開放し、議員との意見交換の機会を持つなど、**若い世代に市議会に関心**を持っていただけるように交流を深めています。



平成30年度（2018年度）には、
議会だより編集委員会と
市内の高校生で広報についての
座談会も実施しました。

平成25年度
(2013年度)

平成26年度
(2014年度)

平成27年度
(2015年度)

平成28年度
(2016年度)

平成29年度
(2017年度)

平成30年度
(2018年度)

HEISEI
平成
27年度

議会の主権者教育は 全国初。 高校生、大学生と 未来を語る

18歳選挙権の開始に先立ち、新たに有権者となる大学生や高校生に、選挙制度や市議会の仕組みを知ってもらうため、平成28年（2016年）2月、選挙管理委員会と共催して**18歳の選択「やお未来議会2016」**を開催しました。模擬市議会議員選挙の体験や高校生からの発表、議員への質問の場を設けました。



議会と高校生との交流は
ここから始まりました。



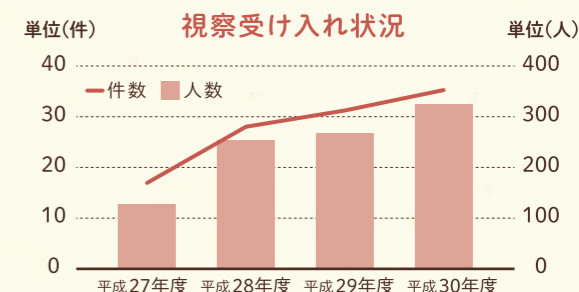
議会改革度ランキング 中核市で2位に

これまでの八尾市議会の取り組みが評価され、早稲田大学マニフェスト研究所が実施する議会改革度調査では、八尾市議会は大阪府下で2位（回答32市中）、さらに中核市で2位（回答53市中）、全国でも30位（回答1,318議会中）と高く評価されています。

HEISEI
平成
30年度



議会改革の内容は
各派代表者会議など
議会全体で検討、協議します。



八尾市議会の様々な議会改革の取り組みは、
全国の市議会から注目され、年々視察が増えていきます。